

教科・科目		教科書
数学 I		高校数学 I (実教出版)
学年	単位数	使用教材
1 年 (文理・基礎)	3	ステップノート数学 I 新課程版(実教出版)
科目の概要と目標	数と式、二次関数、三角比、集合と論証及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	

学期	学習内容 (単元等)	到達目標
1	数と式 1 節 整式	<ul style="list-style-type: none"> ・文字式のきまりを理解することができる。 ・整式の加法・減法・乗法および因数分解について理解することができる。 ・公式等を利用して整式の展開や因数分解を能率よく計算することができる。
	2 節 実数	<ul style="list-style-type: none"> ・数を実数まで拡張し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解を深めることができる。
	3 節 方程式と不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・不等式とその解の意味を理解することができる。 ・1次不等式の解法に習熟し、大小に関する身近な問題の解決に活用することができる。
	2次関数 1 節 関数とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・関数とそのグラフについて理解を深めることができる。 ・2次関数のグラフの概形を平行移動の考え方を利用して書くことができる。 ・与えられた放物線のグラフからその2次関数を定めることができる。
	2 節 2次関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフを利用して2次方程式の解について理解を深めることができる。 ・2次関数の最大・最小について理解を深め、最大値や最小値を求める具体的な問題の解決に活用することができる。 ・2次不等式を解くことができる。
2	三角比 1 節 三角比	<ul style="list-style-type: none"> ・鈍角までの三角比の相互関係について理解を深めることができる。 ・長さに関する身近な問題の解決に活用することができる。

学期	学習内容（単元等）	到達目標
2	2節 三角比の応用	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三角比を用いた三角形の面積の公式や正弦定理・余弦定理を学習し、それらを用いて、平面や空間における図形の辺の長さや角の大きさおよび面積等を求めることができる。
	集合と論証 1節 集合と論証	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合の包含関係等、集合に関する基本的な事項を理解することができる。 ・ 集合の包含関係と関連付けて、必要条件、十分条件、必要十分条件、対偶、背理法を理解し、論理的な思考力を身に付けることができる。
3	データの分析 1節 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの散らばりの様子を捉える概念として、四分位範囲や分散、標準偏差について理解することができる。 ・ 身近な例を用いて、2つのデータの相関を考察することができる。 ・ 具体的な事象を通して、仮設検定の考え方や手順を理解することができる。